



地域の概要及び課題

【資源】

- 吉野熊野国立公園（鳥ノ巣半島の自然景観）
- 沿岸の黒潮の影響を受けた多種多様な海洋生物
- 田辺湾の春の特産物であるヒロメとヒロメを活用した独自の食文化（ヒロメのしゃぶしゃぶ、ひとはめ寿司等）

【課題】

- 漁業者の高齢化と担い手不足
- 地域の魅力向上
- ヒロメの養殖用種苗の生育不良・食害

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン

自然共生サイト登録による
地域資源の認知度向上

ヒロメの商品開発
による市場拡大

ヒロメの種苗生産の
実施と養殖拡大

ブルーカーボンをクレジット
による活動資金確保

民間企業との連携に
よるエコツアー等の開発
と関係人口の拡大

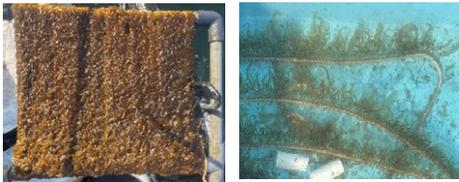
田辺湾奥部
和歌山県田辺市



R5年度モデル事業における取組内容および成果

ヒロメ養殖の拡大と藻場造成

- ヒロメの種苗生産と養殖の実施



【成果】

複数の種苗生産の方法を検討し、種糸を作成した。また、生産量向上を目指して新たな養殖方法を検討し、生長を確認した。さらに、藻場造成場所を検討するため、天然ヒロメの分布場所の磯焼け場所を把握した。

自然資源の実施

- 新庄の海の全域を対象とした生物相調査



【成果】

ヒロメやアマモ、ウミシルモなどの藻場やサンゴ類、多様な魚類やエビ・カニ類等様々な種が生息していることが確認でき、自然共生サイトの認定基準を満たす価値があることを確認した。

エコツアー開発とPR活動

- 里海を活かしたエコツアー開発
- シンポジウム等の実施と普及啓発ツールの作成



【成果】

エコツアーとして自然観察会のほか、漁業体験や保全活動体験を試行し、新たなコンテンツの開発ができた。また、多様な主体と連携した取組の体制構築ができた。

好循環形成ビジョン検討

- 連携体制の拡大



【成果】

取組の継続・拡大を目指して、エコツアーや情報発信を通して様々な企業や自治体、教育機関等と意見交換を行い、連携を深めることができた。

今後の課題および 取組方針

- 新たな連携体制（博物館、大学、民間企業等）の構築による取組の拡大によって、担い手や活動資金の確保につなげる。
- ブルーカーボンの活用について、養殖ヒロメの残置に限らず、藻場（ヒジキ等）・アマモ場の保全等も合わせた取組として、民間企業との連携も視野に検討。